

鉄砲館企画展

種子島

# 上妻家史料展



令和3年 1/30<sup>土</sup> → 2/24<sup>水</sup>

会場：種子島開発総合センター 鉄砲館

8：30～17：00 (入館は16：30まで)

お問い合わせ先：種子島開発総合センター 鉄砲館 TEL 0997-23-3215

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております

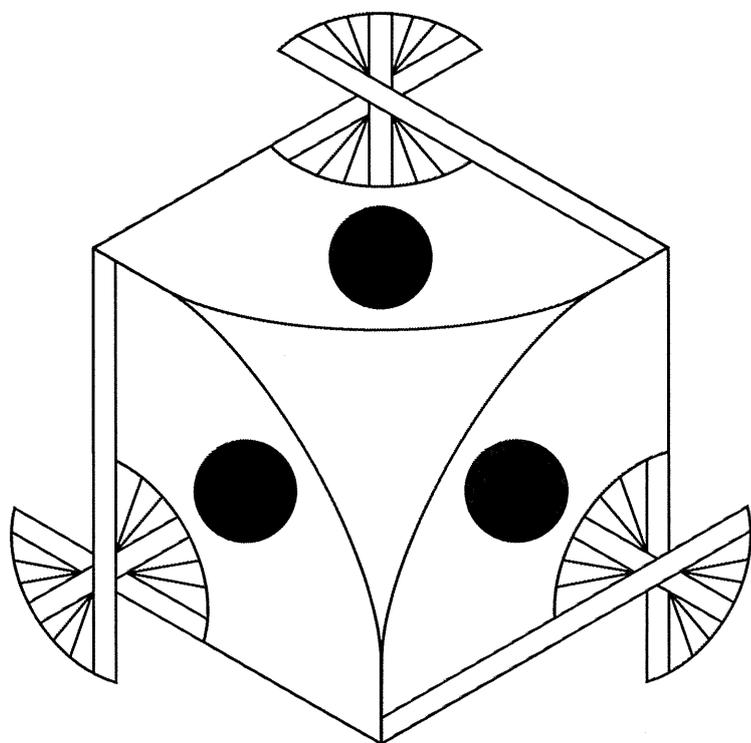
**入場無料**

鎌倉時代初期から中期頃までは、「上妻氏」が種子島を統治していたが、その後、「種子島氏」が種子島を含む南海12島の領主となった。「上妻氏」は種子島氏の有力な家臣となり、代々種子島氏を支えながら、島政に尽くしたと言われています。

今回、種子島氏家臣団のなかで、最上位ランクである「上妻氏」ゆかりの品々を一堂に公開いたします。

令和2年度 種子島開発総合センター「鉄砲館」企画展

# 上妻家史料展



会期 令和3年 1月30日(土)~2月24日(水)

会場 種子島開発総合センター「鉄砲館」

## 上妻家史料展開催にあたって

「種子島氏」入島以前に島を統治していたのは、筑後国出自の「上妻氏」でありました。

その後、種子島氏が南海 12 島の領主として、種子島へ入島後も、上妻氏は種子島に留まり、代々種子島氏の有力な家臣として、島政に尽くしています。

その上妻氏のお屋敷を、2016 年に西之表市が取得。お屋敷内に保存されていた数多くの貴重な歴史史料も、西之表市に寄託・寄贈されました。

鉄砲館では、寄託・寄贈を受けた史料の調査研究を進めており、郷土の宝として、大切に保存保護していくこととしています。

今回、数多くの史料のなかから、上妻家伝世の「兜」や「朱塗りの火縄銃」・「投壺」など特に貴重な史料をはじめ、日常で使用していた調度品等を公開展示しています。

これらの史料から、郷土の歴史・当時の様相等を体感していただければ幸いです。

令和 3 年 1 月 種子島開発総合センター「鉄砲館」

## 種子島の「上妻氏」由緒

鎌倉幕府の守護・地頭設置により、種子島の地頭に「大浦口氏」が任命される。

大浦口氏は鎌倉に留まり、種子島には筑後国（現在の福岡県南西部）上妻庄を名字の地とする「上妻氏」<sup>こうづま</sup>（藤原鎌足を初祖とする）の家系、<sup>こうづまいえまさ</sup>上妻家真を代官とし種子島へ派遣した。この家真が、種子島の「上妻氏」のはじまりとされる。

（※上妻氏の拠点、現在の福岡県八女市の地と言われており、上妻と名の付く地名や、上妻氏に関する史料等も所在し、調査研究が行われている。例：上妻小学校など・・・）

家真は種子島を統治するにあたり、島を三つの郡（上郡、中郡、下郡）に分け、三入道（高野入道・野間入道・熊毛入道）を配置し、それぞれの郡を治めさせた。また、家真の活動拠点の地は、現在の中種子町「増田」の地と言われている。

しかし、その後、鎌倉幕府「北条時政」は平清盛の「ひ孫」にあたる「種子島氏」を南海 12 島（種子島・屋久島・口永良部島・硫黄島・竹島・口之島・臥蛇島・中之島・諏訪瀬島・平島・悪石島・宝島）の領主とし、種子島へ配流。これ以降、種子島氏による南海 12 島の統治がはじまることになる。（種子島家初代 種子島信基）

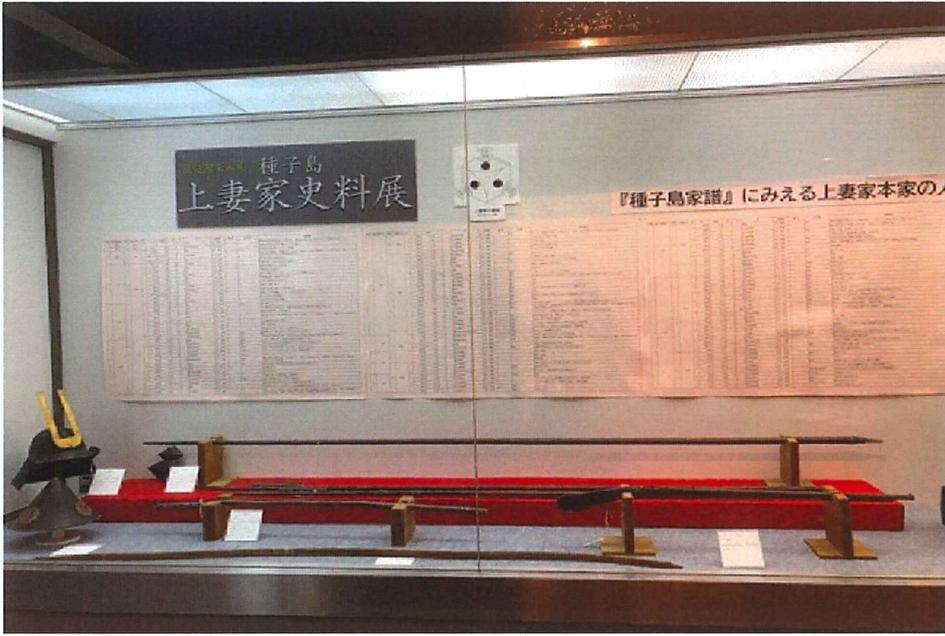
一方、それまで種子島の統治者であった「上妻氏」は出自地である筑後国（上妻庄）へ引き上げる意思があったが、種子島氏やその家臣団の強い説得を受け、領地 50 町歩（15 万坪・東京ドーム 10 個分の土地）と家臣の職を種子島氏より与えられ、種子島に留まることとなった。以後、上妻氏は代々、島主種子島氏の有力な側近として島政に尽くすこととなる。

その後、上妻氏の庶流は島内全域に広がり、種子島で上妻姓が多いのはこのためである。

令和2年度 上妻家史料展 展示史料一覧

	史料名	時代
1	投壺	近世
2	角盆	近世
3	携帯用食料入れ(箸入付)	近世
4	重箱	近世
5	鏡立	近世
6	筋兜	近世
7	名札	近世
8	采配	近世
9	鉄砲玉	近世
10	早合	近世
11	火薬入れ	近世
12	朱塗り火縄銃 十刃玉筒	近世
13	具足	近世
14	兜	近世
15	陣笠	近世
16	槍	近世
17	槍	近世
18	槍	近世
19	袖がらみ	近世
20	弓	調査中
21	火縄銃	近世
22	文箱	近世
23	文箱	近世
24	裁縫道具収納箱	近世
25	提げ重	近世
26	御膳	近世
27	猫脚膳	近世
28	折敷	近世
29	御膳	近世
30	板戸絵	近世
31	飯櫃	近世
32	湯桶	近世
33	箱枕	近世
34	硯箱	近代
35	棹秤	近世
36	鑄型	近世
37	蒸留器(ランビキ)	近代
38	湯たんぽ	近代
39	囲炉裏	近代
40	箱炬燵(櫓炬燵)	近代
41	長持	近世
42	有栖川宮熾仁親王書	近代





No. 1  
上妻家史料展開催状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



No. 2

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



No. 3

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

No. 4



---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

No. 5



---

---

---

---

---

---

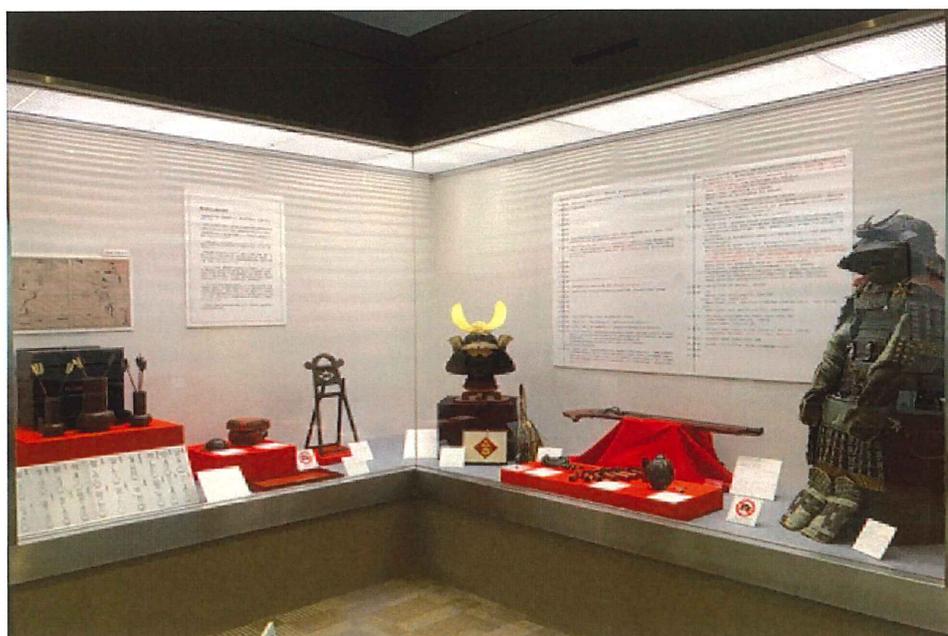
---

---

---

---

No. 6



---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



No. 7

---

---

---

---

---

---

---

---



No. 8

---

---

---

---

---

---

---

---



No. 9

---

---

---

---

---

---

---

---